

市民公益活動を活性化させるために市にして欲しいこと

- 市・掲示板の設置場所拡充。
- 市民公益活動情報紙（各団体の発行誌を統一）。
- 駅の掲示板利用時のポスターへの許可印は駅構内の役所窓口で受けられる様に。
- ホームページを見やすく。
- 広報に事業予定を載せる。
- 市内団体の活動予定を月単位で知らせる。
- 公益活動の具体例を示す。
- 市の配布物の規格統一を希望（例、ポスターサイズがバラバラである）。
- 定期的に市の職員との（市民）対話集会を持つ。
- 公益活動団体の定期的（年1回）な紹介、PR。
- 近隣市町の資料入手（鴻巣、桶川の資料は入手し易いが、川島、吉見は少ない）。

- 参考資料充実（図書館の蔵書が少ない）。
- 市民にアンケートを取る（何を必要とするか）※コンペ方式で案だけでも報償を。
- 市の職員がやる気を持つ事。
- 市役所に行った時、ある一定のあいさつが少ない。市民に感謝の心。
- 部署に取組む人を任命する。
- 市は市民をお客と思うべし。
- 市職員の意識の向上を図れ。
- 役所の人数が多すぎる。
- 部署によっては暗い所がある。
- 市行政の各団体に対する積極的な支援と協力。
- 市は市民の為に何をすべきか目標がない。
- 縦割のため双方個性がなく、意見の集約が難しい。

- 公益団体設立支援金。
- 市長との対話を増す事。
- 相談窓口の一元化（市民の窓口には横断的な組織が必要）。
- 市に申込書類を提出しても回答が遅すぎる。
- 市役所の中に市民専用相談窓口を設けて欲しい。
- 市政全般について熟知した職員の配置。
- 親しみやすい窓口の一本化（参画提案時）。
- 行政と自由に対話出来る場を求める。
- 市民活動に参加する（職員）。
- 初めの一步からの事業を何か見つける（行政）。
- 市職員はよくやっている。特に協働推進課の方々は…（印象）。
- 各種団体の調整と連絡をする。
- 年度はじめに市事業と各団体（社協他）の行事調整。

- これから公益活動をしようとする人たちへの講座開設。
- 仲間を集める仕組みへのサポート。
- 事務所のない団体に対して協働で民活受付センターを設置。
- NPOに公共施設を優先に利用させる。
- 役所内に公益活動センターをつくり団体に会議室、事務機器の提供。
- 公益団体の中で働く人（資格を持つ人）の相互利用。
- 東部公民館の拡張。体育、催し物の場所が狭い。
- 野外活動センターの利用の利便性。マイクだめ、夜間照明だめ、キャンプのとき。
- 条例は易しく。誰もが理解しやすいように！（希望）
- 具体例毎に参加、入札を行う。
- ごみ減量は賛成であるが掛け声ばかりのような気がする。
- ごみ減に対するくらし安全課の対応は如何なものか。

- 共同で使用できる施設の開放。
- 指定されない資金の提供（すべてはまかせる）。
- 期末になると土木作業が多くなる。予算をうまく使う。
- 補助金の増額。コミュニティ活動を活発化、充実のため。
- 予算残が必ず発生します。来期に予算をまわす。
- 市の活動で行っていた活動も、予算を切られると継続が困難。
- 提案型補助金の額をもっと大きく（1件あたり）。
- 北本まつり宵まつりの地域コミュニティ委員会に対する助成。現在補助金0円。
- 高齢者に対しての祝い金等はあまり変化させない事。
- 道路に水たまりができないよう整備して欲しい。
- 公益団体支援のため、基本（寄付金、税金）。
- 各自治会が持っている公会堂（集会所）を他地域にも開放する。

- 委員の選別は慎重に…！！（要望）

- 自治会、地域コミュニティ委員会をもっと整理して欲しい。

- 土木作業工事においても地域に差があるように思える。やる所とやらない所。

- 市で管理している土地活用について。小さい所等が多いとか。

- 学校制度について（区割を考えて欲しい。中学校選択制度も考えて欲しい）。

- 個人的には美術館を併設して欲しい。

- 街路樹の件。地主の方に整理を促して下さい。通学路がキケン。

- 農業委員会との話をして。花と果物の町としての形ができるのでは。

- 学校応援団の充実のための取組み強化と体制づくり。

- 市内のバス運行について統一したものにしたい。東口、西口、会社。

- 生活保護に関して担当者を増やし密に調査して欲しい。

市民公益活動を活性化させるために市にして欲しくないこと

- 各部署はドアを付けずにオープンにする事。
- 市機能（事務所）の分散（新庁舎で全ておさめられるのか）。
- 市長室を1階に持って来る事（顔が見える）。
- 市長“車”を廃止。健康上歩いて頂く。
- 文化センターの市優先使用。
- 公民館等の使用代金が統一されていない。
- 地方公務員制度の見直しと市民格差を考えるべき。
- 市民の困っていることに親身にならない（なれない）人。
- 北本市の職員として誇りを持って欲しい。
- 職員は上を目指して頑張っていて欲しい。やる気が見えない人もいる。
- 何故、職員の病気持ちが多いのか。

- 効率を必要とするのにマイナスの事ばかり先に考える。
- 各課の長はもっと責任と実行を決断。自分の部下と共にやるべき。
- 職員の間仕事等やる人とやらない人の差が大きい。
- 条例、規則にのみしばられて仕事する人。
- 自分の部署しか考えない方が多く、他の所は問題外。
- まじめすぎて、少し社会の流れを知るべき。
- 公民館の人材確保（予算減）。
- 質問・提案への色よい（無難な）回答。
- 言葉づかいが乱暴な職員がいる。
- 前例だけにとらわれて仕事する人。
- 市議会議員10名にする。
- 市議の人数少なく。少数精鋭主義で。
- 議員定数の削減と日当制への移行。歳費削減。

- 公共施設周辺の清掃！！（現在とてもいい）
- 雑木林の保存で、カラスの被害。北本宿、東5自治会地区。カラス退治を。
- ゴミの分別！（資源）
- （ゴミの）回収！！減を避ける（回数）
- 自然保護（里山、緑道）。
- 散乱するゴミへの注意（買い物、食べもの、飲物）。
- 公園整備（小規模）を地域に委託。
- 街灯設置（明るい道、安全な道）。
- 期末の工事は極力やめるべき。ムダをうまく使う。
- 財政に左右される敬老祝い金。
- 予算が突然なくなる。
- 赤字なのに市民税の減税はどうか。やめたら。
- 補助金配分での過去のしがらみ。

- 予算を予告なしに打切ること。
- 文化とアートの事業。市民のかかわりが少ない。
- 一部の市民しか参加しない（できない）事業。
- 建築等に関わる税の取り方が不平等。
- 市庁舎の新設は簡素に。最小限に。